

カタルーニャ独立派が勝利

発表日：2017年12月22日(金)

～第2ラウンドは長期戦～

第一生命経済研究所 経済調査部
主席エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

◇ カタルーニャの州議会選は独立派3党が過半数の議席を確保したが、前政権で連立を組んだ穏健派2党では過半数に届かず、前政権と同様に強硬独立派か、住民投票実施に理解を示す中立派のどちらかの閣外協力が必要となる。穏健2党は一方的な独立に向けた動きをさらに進めることに慎重で、中立派の閣外協力で政権を発足する可能性が高い。ただ、連立協議や閣外協力は難航が予想されるうえ、国外逃亡中の前州首相や収監中の独立派議員の登院の可否も不透明で、次期政権の姿が見えてくるまでには時間が掛かりそうだ。住民投票の実施や州の自治拡大要求にスペイン政府が簡単に応じることみなさそうで、政権発足後もカタルーニャ州政府とスペイン政府の間で緊張関係が続きそうだ。

21日に行なわれたスペイン・カタルーニャ州の議会選挙（定数135、過半数68）は、開票率99.89%の速報段階で、スペインからの独立を支持する3党の合計獲得議席が70と過半数を上回った（表）。最多票を獲得したのは残留派の市民（Cs）だが、残留派3党や中立派を合わせても過半数には届かないため、残留派の政権発足は難しい。独立派内では、改選前の最大勢力で、選挙戦終盤で追いつけたプチデモン前州首相が率いるジュンツ・パル・カタルーニャ（JuntsxCat）が、ジュンケラス前州副首相が率いるカタルーニャ共和主義左翼（ERC）を逆転、独立派内で最大勢力となった。ただ、前政権でも連立を組んだこの2党では過半数に届かないため、前政権同様に強硬独立派の人民統一候補（CUP）か、住民投票の実施に理解を示すカタルーニャ・アン・コム＝ポデム（CatComu-Podem）のどちらかの閣外協力が必要となる。

次期州議会は来年の1月23日までに召集される。次期州首相の選出には、初回投票では絶対過半数（68）が必要となり、2回目の投票では不在票や棄権票を除いた単純過半数で足りる。初回投票をいつまでに行なうかの期限はないが、初回投票が行なわれた後、2ヶ月以内に政権が発足できない場合、40～60日以内に再選挙が行なわれる。前回2015年の州議会選後には政権発足までに4ヶ月近くを要した。後述する通り、連立協議や閣外協力は難航が予想され、次期州政府の枠組みが見えてくるまでには時間が掛かりそうだ。

残留派が単純過半数を獲得するには、中立派のCatComu-Podemの協力と離脱派の棄権が必要となり、その可能性は極めて低い。他方、離脱派は3党が連立を組めば絶対過半数に届くが、反資本主義政党のCUPが連立に加わる可能性は低い。前回と異なり統一党派で戦わなかったJuntsxCatとERCの2党が再び連立を組めるか、次期州首相候補として誰を擁立するか、閣外協力相手に強硬独立派のCUPと中立派のCatComu-Podemのどちらを選ぶか、閣外協力の見返りにどういった政策を要求されるかが、当面の注目点となろう。

次期首相候補が誰になるかは、閣外協力の相手や今後のカタルーニャの独立運動の行方を占ううえで、注目される。ブリュッセルに逃亡の身のプチデモン前州首相は、スペインに帰国すれば収監されることが確実だ。ブリュッセルから州政府を率いることは非現実的で、同氏の首相就任や収監中の他の独立派議員

の登院の可否を巡って、スペインの中央政府や司法当局との対立が早速表面化する恐れもある。

一方的な独立の動きを前進させた場合、再び州の自治権停止や州政府高官の逮捕につながるだけで、独立に向けた突破口は開けない。独立派の合計獲得票率は47.5%と再び50%に届かず、カタルーニャ州民の過半数が独立を支持していると主張することは難しい。JuntsxCatとERCの独立派の2党は恐らく、時間を掛けて独立の是非を問う住民投票の実施や、州の自治権拡大に向けた中央政府との対話を求めていく方針に舵を切るだろう。CUPがそうした方針に従う可能性は低く、中立派のCatComu-Podemが閣外協力するシナリオが最有力と言えそうだ。

ただ、国政レベルで活動する新興左派政党のポデモスと、そのカタルーニャでの活動組織であるCatComu-Podemの間には、カタルーニャ独立への対応を巡って意見対立も表面化している。カタルーニャ州の独立に反対しながらも独立の是非を問う住民投票を認める立場を採るポデモスは、カタルーニャの独立問題が深刻化した後に各種の世論調査で支持を落としている。CatComu-Podemの独立派への閣外協力がすんなり決まるとは限らない。

独立派の州政府が再び誕生した場合、スペイン政府が憲法155条に基づく自治権停止をそのまま維持するのか、どういった条件で州の自治権を復活させるのかも、対立の火種となりそうだ。同意に基づく住民投票の実施や州の自治拡大要求に、ラホイ首相が率いる国民党政権が簡単に応じることはなさそうで、政権発足後もカタルーニャ州政府とスペインの中央政府の間で緊張関係が継続することになりそうだ。

(表) スペイン・カタルーニャ州議会選挙の結果

	前回選挙 (2015/9/27)		今回選挙 (2017/12/21)	
	獲得議席	獲得票率	獲得議席	獲得票率
独立派	72	47.8	70	47.5
ジュンツ・パル・シ (JxSI)	62	39.6	—	—
ジュンツ・パル・カタルーニャ (JuntsxCat)	—	—	34	21.7
カタルーニャ欧州民主党 (PDeCAT)	—	—	—	—
カタルーニャ共和主義左翼 (ERC)	—	—	32	21.4
人民統一候補 (CUP)	10	8.2	4	4.5
残留派	52	39.1	57	43.5
市民 (Cs)	25	17.9	37	25.4
カタルーニャ社会党 (PSC)	16	12.7	17	13.9
カタルーニャ国民党 (PPC)	11	8.5	3	4.2
中立派	11	8.9	8	7.5
カタルーニャ・アン・コム＝ポデモ (CatComu-Podem)	11	8.9	8	7.5
合計	135	95.9	135	98.4

注：今回選挙は開票率99.89%段階の速報結果

出所：カタルーニャ州議会資料より第一生命経済研究所が作成

以上